

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年1月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673100105
法人名	有限会社 タンポポ福祉館
事業所名	グループホーム タンポポ福祉館
所在地	鹿児島県鹿児島市春山町1855番7 (電話) 099-278-7110
自己評価作成日	令和2年11月23日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年12月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

*認知症の方を理解して支援していく為に、職員の質向上に努め毎月認知症の勉強会を行っています。
*理念を毎日唱和することで認識しつつ、個々のケアプランにより本人の特性を活かし、日常生活が楽しく過ごせるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・コロナ感染防止の為、家族との面会は玄関での面会を工夫し、関係を大切にしている。
- ・職員の勤務年数が長く、利用者に対しその人らしく穏やかに過ごせるように、その時々状況に合わせて、思いの変化を把握し支援している。
- ・職員は勉強会や外部研修に参加し自己研鑽に努め、資質向上を図っている。
- ・毎月の利用者の状況を家族に報告し、信頼を得ている。
- ・施設の前の道路が通学路になっており、登校中の中学生や馴染みの知人が手を振って利用者にあいさつを交わす等、和やかな雰囲気がある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	わかりやすい言葉で誰にも納得してもらえる理念で支援に取り組んでいます。	理念は、玄関や廊下・調理場に掲示し、申し送りの時に唱和し意識づけしている。パンフレットにも掲載している。1週間毎に理念の項目について確認し合い実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	社会福祉協議会の方や、地域のボランティアの方の訪問、ふれ合い交流の場があります。	町内会に加入し地域の行事に参加したり、ボランティアを受け入れていたが、コロナ禍で自粛している。ホームの周りを散歩したり通学路のため中学生等が窓越しに手を振ってくれ、あいさつを交わしてしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	施設での行事にボランティアの方々や地域の方にも参加してもらい、利用者とのコミュニケーションをとってもらい、認知症に対する理解を深めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回定期的に地域の方と民生委員の方と運営状況活動の報告を行って、助言指導等と頂き、利用者のサービス向上に活かしている。	会議は、コロナ禍にあり資料を配布し、運営の現状報告・行事・ヒヤリハット・外部研修などを報告し、電話で情報や意見等を得て、サービス向上に活かしている。コロナウイルス対策も話し合ってサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の相談員の指導を受けケアのサービスの取り組みを伝え協力関係を築くようにしています。生活保護担当者とは状況に応じて相談情報交換等行っています</p>	<p>行政からコロナ情報が郵送されてくる。申請書類を窓口を持参し必要時、相談をしている。福祉担当者とも相談や助言を貰っている。介護相談員は今年は自粛しているが、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束、暴言等を含め利用者へのケア取り組みには具体的に掲げ、絶対拘束しないよう日々勉強会を行っています。</p>	<p>身体拘束委員会があり3ヶ月毎に勉強会を行っている。定期的に研修会もしている。事例を出して言葉の拘束にも気配りしている。玄関の施錠は交通量が多いので鍵をしていることがあるが、外に出たい時は職員が同行している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部内部研修により虐待防止の勉強をして職員間で共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修には参加できるよう働きかけ研修内容には資料を共有して制度の勉強を行うようにする。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時管理者が重要事項説明書契約書をご家族に十分に説明して理解したうえで契約は行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年2回の家族会を開催して意見交換で日常の支援に活かしている。	利用者からお茶の時間等に毎日をどう過ごしたいか、困りごと等を傾聴し記録している。家族からは家族会や花見・敬老会が自粛の為、対応できなかったの、面会時や電話などで意見や希望を聞いて運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングで職員の意見や要望等を聞き、代表者に実態報告し運営に反映させるよう努めている。	管理者と職員は、働きやすい職場づくりを目指し取り組んでいる。職員間はコミュニケーションがよく、ミーティングや職員会議で意見が多く出て、気づきノートを活用し、意見や要望は代表者に報告し対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は常日頃勤務状況の把握を行い、体調面も気づかい、働きやすい職場環境に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月のミーティングのテーマを決めて勉強会を行なっている。外部研修でスキルアップに努め、持ち帰り他のスタッフも勉強して介護の質を高めるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会の研修やイベントに参加し交流に努め、ネットワーク作り等行いサービス向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスを開始する前に管理者ケアマネジャーはカンファレンスを行い介護計画を一緒に作成する。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>主治医の意見やご家族の意見要望を聞き信頼関係を築き、家族ケアにも力を入れている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人家族の思いを尊重し、診療等も含め、他サービスの説明し、家族本人の要望の検討に努める。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の意見を尊重して自己決定で出来るように支援して、利用者中心のケアをしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々のケース記録を基に毎月の状況報告便りに、ご家族と職員で有し、一緒にケアできるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の方の面会があった時は、なるべく長い時間過ごしてもらうようにしています。	コロナ感染防止の為、馴染みの場所や人に合えないので、知人等が道路から手を振ったり、近所や家族から差し入れがある。理美容室は訪問で対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立する方がいないように常に見守り声かけを行っています。レクリエーション等でコミュニケーションが図れるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話連絡病院へのお見舞いや在宅訪問、面会を通じてケアを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の言葉や周囲に方との会話行動表情で本人の思いを把握に努めています。家族にも情報等聞き検討している。	その人らしく穏やかに過ごせるように、その時の状況に合わせて思いの変化を観察している。家族からも情報を聴き取りして、ミーティングで話し合っている。困難な場合は表情やしぐさで察知したり家族に聞いたりして支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人ご家族主治医からの情報等を基に本人の状態を観察し望む暮らしに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタルチェックを行い、体調を観察して日常生活が自分のペースで過ごせるように支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人家族主治医の意見を参考に話し合い、個々にあったプランを作成しています。状況変化に応じてプランの見直しをしています。	本人や家族の要望を聞き、主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月で行い、状況に変化があった時は、その都度見直し現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態変化の記録やケアの記録をして、毎月のミーティングで個別の意見交換を行い、ケアプランの見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者ご家族の要望、突然のアクシデントの時の受診送迎、必要に応じて訪問診療で対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署の年2回の立会い避難訓練を行って、地域の方の協力参加してもらってます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の訪問診療や緊急の往診等24時間医療機関連携で安心して受けられるようにしています。	かかりつけ医は本人や家族の希望を大切に支援している。月2回の訪問診療がある。専門外来受診の皮膚科・眼科は家族が対応している。歯科は訪問診療である。24時間医療連携体制が整って適切な医療を受けている。家族に受診後、経過を報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>普段と違う表情動作が感じたら直ぐに同事業所の看護師に相談し早期対応できるように連携が出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際はサマリーを具体的に作成して医療機関に情報提供を行う。医師と看護師と連携を密にして状況把握に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族会や面会時重度化した場合のターミナルケアについて説明して話し合い家族と一緒にケアしている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり入居時に本人・家族に説明し同意を得ている。24時間医療連携体制が整っており緊急時の対応もある。食事が摂れなくなった時点で主治医と話し合い、医療機関へ移る利用者もいる。家族の希望で看取りケアにも対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の方の救急救命の訓練研修を全職員が受けるようにします。緊急実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署立会のもと避難訓練を行い助言頂いて、民生委員さんにも参加協力を頂いてます食糧の備蓄は定期的にチェックして災害に備えています。</p>	<p>避難訓練を消防署立ち合いで年2回、避難ベルが鳴ったら玄関に集合し消防署の指導の下、実施している。自主訓練は2ヶ月に1回行っている。今回は通報の仕方を訓練した。地域の協力として、民生委員と情報を共有し対応している。備蓄は水・米・カップ麺・うどん・レトルト食品・缶詰等を用意している。頭巾や懐中電灯等もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライドを傷付けない言葉、プライバシーの保護に気を付けて介護を行っています。	尊厳を大切に、信頼関係作りに努めている。毎月勉強会で研修し、入室時の言葉かけや入浴介助・トイレ誘導などで羞恥心に配慮したり、プライバシーを守れるように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	1年に1回の誕生日にはご自身の好みの食事を提供し職員と一緒に調理します。当日の着る洋服は一緒に選び写真を撮っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望優先のケアを行い、それぞれが好きな事を好きなように楽しんでいます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容で本人の希望する髪型でカットしてもらっています。入浴日毎衣類はスタッフと一緒に選び準備して、おしゃれが出来るよう支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	四季の材料を使い、メニューの紹介して美味しく食べて頂きます。配膳下膳は利用者さんと一緒に行っています。	食事を楽しめるように嗜好調査で好きな物を提供している。季節感のある食材も多く入れて美味しさを楽しんでいる。梅干しづくりやスモモ煮・おせち料理は栗きんとんを添えて楽しんでいる。食事準備や片付けなど利用者と一緒に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>主治医の検査結果を見ながら、塩分量を調整を行い不足分の栄養等補充に工夫調理している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアは行い必要ある方は訪問歯科にて治療しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々にあった排泄パターンに合わせた支援で、快適に過ごせるようにしています。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導は周りに気づかれないように支援している。自立した利用者もいる。日中はリハビリパンツとパット使用者が多く、夜間はポータブルトイレの場合もある。布パンツ・リハビリパンツ等、介護用品を使い分けた支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便リズムに的確でない方は主治医とも相談しつつ、水分量や腹部マッサージ等行い体調不良に気を付けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	1週間に3回は入浴を行い清潔気分もリラックスできるよう浴槽に移乗時には時転倒防止に努めています。	入浴を週3回、午後から行っている。浴槽に入りリラックスしている。入浴を嫌がる場合は、タイミングを見て声かけしたり、時間をずらして誘導したり、無理強いしないようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中適度の運動や歌等でこころよく過ごしてもらい、夜間良眠してもらってます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服処方箋はいつでも確認取れるようにファイルしている。主治医の指示を守り服用しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活、職業歴でそれぞれの得意とする役割や共通話題等活かし和やか一緒に歌やゲームを楽しんでいます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	花見シーズンは家族も一緒にお弁当持参で出かける機会があれば外出を希望しています。	コロナ禍の中、外出を自粛していたが、コスモス見物に出かけ車内からながめたり、買い物にも行っている。近くに畑があり野菜や果物ができるので成長と収穫を楽しみに散歩している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>少ない金額をもって案心される方には所持しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族に年賀状を書いてもらっています。時には家族に電話で話すこともあります。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フローア-は常に懐かしい曲が流れ、口ずさむ方もおられ、ホールには利用者のイベントの写真が展示してあり、賑やかな空間です。</p>	<p>ホールは天井が高く、採光が良く、室温・湿度が快適に保たれて、定期的に窓を開けて換気もしている。玄関に花やおひなさまが飾ってある。畳の部屋もあり、ソファやテレビもあり、ゆっくりくつろげる。音楽が流れ食事の支度も見える。壁には利用者の活動の写真や作品が飾ってあり、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室ソファ-で自由に過ごすようにしている。フローア-ではお茶飲みも自由に気の合う利用者同士がくつろげている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	切り絵や塗り絵など利用者が自作したのを自部屋に飾ってあります。	居室にはエアコン・ベッド・タンスを設置している。家から持ち込まれた寝具・タンス・ラジオ・家族写真・テレビ・ぬいぐるみ等を置いて、居心地よく過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関ホール居室トイレはバリアフリーとなって安全です。トイレ浴室などは矢印表示して、わかり易く自立できる生活環境しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない